

下出蒔絵司所 3代目

京蒔絵師 下出 祐太郎

略歴

昭和30年 京都市に生まれる

昭和52年 漆芸家の東端真笹や佐治賢使に師事する。

平成14年 高台寺蒔絵の研究を開始

平成17年 京都迎賓館では、60点もの漆工芸調度品を担当

平成18年 京都工芸繊維大学 特任教授

平成22年 「漆の美の物性と伝統髹漆法の研究」と題した
博士論文をまとめ、博士号を取得

平成23年 桃山時代当時の技法を明らかにし、屏風2隻を
復元製作した

受賞 平成9年度京都市芸術新人賞 日展20回連続入選
第40回京展記念賞 第5回日工会展日工会大賞
第45回全関西美術展 第一席
平成11年度伝統的工芸品産業功労者表彰
通商産業大臣奨励賞
2000 京都美術工芸展準大賞

経済産業大臣認定 伝統工芸士

京都伝統工芸大学 教授

国立大学法人 京都工芸繊維大学 伝統みらい教育研究センター
特任教授

京都産業大学 文化学部 京都文化学科 教授